

# 美しい森林づくり全国推進会議 秋田県南秋田郡五城目町が担う 美しい森林づくりへの活動

「美しい森林づくり全国推進会議」に参加している秋田県南秋田郡五城目町では、  
多くの人たちに美しい景色に親しんで欲しいという思いから、  
森林に対して様々な取組を行なっています。

そこで今回は五城目町のまちづくり課主査の門間良雄氏におもな活動、今後の取組について伺いました。

## 巨岩・巨石の美しい景観 デロ杉流域の環境への取組

平成二十年度から「美しい森林づくり全国推進会議」に参加している秋田県南秋田郡五城目町。活動は平成十九年春、地域の活性化を目指す「清流の会」と町が共に地域振興を図ることから始まりました。これまでの取組について、五城目町のまちづくり課主査の門間良雄氏にお話を伺いました。

「きっかけは地域の小・中学校が子供たちの減少によって閉校になったことだったんです。まだ校舎も新しかったこともあり、何とか町を盛り上げられないかということで、高齢者を主体に六三名で活動している『清流の会』が、学校を利用した『絵画展』などを開催したのが始まりです。その後、平成十九年から住民と行政が協働で町づくりを推進していくという話になり、支援制度を設けたんです。その中で持ち上がったのが、デロ杉流域の環境を整備しようという提案です。藪だらけになっていた流域沿いの旧軌道敷を散策道として利用できないかと考えたんです」（門間良雄氏）

デロ杉の語源は地元でも定かではありませんが、その昔、災害で川が氾濫し、流域一体が泥をかぶったことで泥杉がデロ杉と呼ばれるようになったという説もあるとか。河原にあるネコバリ岩には、高さが六、七メートル



五城目町のまちづくり課主査の門間良雄氏

もある杉や広葉樹が三十本ほど生えており、観光に訪れた人を驚かせるスポットでもあります。この地域が国有林のため、五城目町では米代西部森林管理署と相談した結果、平成十九年六月から、「清流の会」と町職員による環境整備活動が始まりました。草刈りは述べ五回、一年近くかけて順次行われていましたが、そんなときに、デロ杉流域が実写映画「釣りキチ三平」（三月二十日公開／東映）のロケ地の候補になるというニュースが飛びこんできました。

「初めはスタッフの方が映画のシーンに合う場所を探しに秋田県をくまなくまわっていたらしたんですが、のちに滝田監督が五城目町にいらして、北ノ又集落の民家が主人公である三平くんの自宅のイメージとピッタリだ



1

ということになったらいいですね。その後、デロ杉流域を訪れたら、巨岩・巨石の景観に魅了されてしまったということですよ。怪魚が生息する大きな滝に三平くんが向かう道中に

デロ杉流域が使われるということですよ。恐らく素晴らしい景色が映画の中で見られると思いますので楽しみにしております」（門間良雄氏）

1：ネコバリ岩

2：清流の会会員と町職員による旧軌道敷の整備

3：映画のロケ地になった旧軌道敷に碎石を敷設



2



3

周辺が整備されることによって、貴重な自然がスクリーンを通して多くの人たちの目に触れることになったのは大きな収穫です。「美しい森林づくり全国推進会議」の参加団体として、さらに国有林と連携を図り、将来的には「自然環境教育林」として多くの方たちに美しい景色に親しんでほしいと願っている門間氏。高齢化が進む周辺の杉沢集落や北ノ又集落の活性化も今後の課題のひとつとなっています。

「平成二十年度に農林水産省の農山漁村地域力発掘支援モデル事業に杉沢地区の取組が採択され、地域と町とが連携を図って、「ふるさとづくり計画」を行っています。過疎化している現状の中で、国の支援を受けて、不耕作農地をうまく活用させて新たな農産品（行者にんにく）を作ったり、行者にんにくの加工品（醬油漬けやギョーザなど）を特産品にするなどして、地域を自立させていこうという取組です。北ノ又集落には、まだまだかやぶき屋根の民家が残っているんです。その景観の保護と支援体制の確立も今後の課題のひとつです。それと秋田県は杉の植林が盛んなことでも知られていて、特に五城目町は積極的に植林を行っています。美しい森林づくり推進会議”の参加団体として、これからもそういった取組をひき続き行っていきたいと考えています」（門間良雄氏）